

日本栄養・食糧学会中部支部

令和3年度 第1回 参与会議事録

日 時 令和3年9月18日（土曜日） 11:00~11:40

場 所 Zoom 会議

出席者 参与27名、会計幹事

議 題

I 審議事項

1. 令和2年度事業報告

庶務幹事より以下の令和2年度事業報告があった。令和2年度は当初予定していた6月の第77回支部大会が新型コロナウイルスの感染拡大によって延期となった。11月の第77回支部大会では特別講演・シンポジウムをオンライン開催（Zoom）し、69名の参加があった。参与会については、6月と11月にオンラインにて開催をした。

2. 令和2年度会計報告

会計幹事より、令和2年度は支部大会がオンラインで1回の開催となったため、学会活動強化費の申請は行っていないこと、事業活動支出が少なくなったことが報告された。

3. 令和2年度会計監査報告

監事より、令和2年度の収支決算書について監査の結果、正当であると認められたと報告があった。

4. 令和3年度事業計画

庶務幹事より、以下の事業計画の説明があった。第78回支部大会は当初、名古屋大学農学部での開催を予定していたが、オンラインにて学会賞・奨励賞の受賞講演、若手シンポジウムの開催を行う。第79回は11月27日（土）にウインクあいちとZoomのハイブリッド開催とする予定であり、特別講演と一般講演を行う。一般講演では優秀発表賞の授与を行う。

参与会については、第1回を9月18日、第2回は11月27日（第79回支部大会の前）に開催予定である。

5. 令和3年度予算（資料5）

会計幹事より、令和2年度の第2回参与会で審議され、すでに承認されている令和3年度予算計画書の説明があった。支部大会を2回開催予定のため、学会活動強化費の申請を行う。支出では2回分の支部大会に必要な支出を計上している。

6. その他

支部長より、以下の案内があった。第79回の支部大会では、一般講演をオンサイト（ウインクあいち）とオンライン（Zoom）のいずれでも発表できるように取り組む。次回の参与会では、新参与の推薦についてご案内する予定である。

II 報告事項

1. 令和3年度参与・代議員

参与の所属に訂正があり、議事録案で修正を行った。

2. 令和3年度支部特別協賛団体

庶務幹事より、昨年度から1社辞退の申し出があり、9社となったことが報告された。

参与会後に1社から辞退の申し出があり、8社となった。

3. 理事会報告

理事より、以下の報告があった。

令和3年度第1回（4月）：

- ・社員総会6月5日にテレビ会議システムにて開催予定。事業報告書、決算報告書の承認。
- ・栄養成分表示教育検討委員会を非常置委員会から常置委員会へ移行し、健康食品保健表示検討委員会とする定款の改定が了承された。
- ・2023年度日本栄養・食糧学会第77回大会準備責任者は北海道支部長が就任されることが確認された。第75回東京大会の概要の説明。

令和3年度第3回（7月）：

- ・日本語学会誌について、JSTが実施しているJ-stageの掲載雑誌向けのジャーナルコンサルティング事業に応募し採択となった。より信頼性の高いジャーナルを目指すための事業であり、Zoomでの面談によるコンサルティングが行われている。
- ・JNSVのインパクトファクターが2.0に上昇した。英文誌のJNSVに関してもJ-stageのジャーナルコンサルティングを検討する可能性がある。
- ・第75回東京大会は1415名の参加者があり、多くの方に参加いただいた。第76回大会（神戸）の会頭より、実行委員会が立ち上げられて準備が進められている。2022年6月10日に社員総会、受賞講演、11、12日に一般講演が予定されている。第22回国際栄養学会議について、ポスター発表の申し込みなどの報告があった。2022年第76回大会にて本学会の75周年記念事業を行い、記念誌を発行する予定。支部の先生方にもご協力をお願いしたい。
- ・代議員選挙が10月に実施される予定。

以上